

御嶽山の噴火状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※ 下線部は、前回からの変更箇所。

平成26年9月27日
16時00分現在
内閣府

1. 火山活動の状況(気象庁情報:9月27日14:30現在)

(1)これまでの状況

御嶽山(長野県・岐阜県境)では、本日(27日)11時53分に噴火が発生しました。

山頂付近の状況は視界不良のため不明ですが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測しました。このように火山活動が高まっていることから、本日(27日)12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げました。また、同13時35分に降灰予報を発表しています。

噴火が発生したのは2007年(平成19年)3月下旬にごく小規模な噴火以来です。御嶽山で噴火警戒レベルを3に引き上げたのは、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めてです。

(2)今後の見通し

今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口から4キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要

火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要。

2. 人的・住家被害の状況(警察庁調べ:9月27日 16:00現在)

(1)人的被害

【長野県側】

○骨折 2名(頂上山荘:男性、9合目:女性)

○埋もれた者 4名(うち1人が意識なし)

【岐阜県側】

○骨折 2名(二の池小屋付近:男性1、女性1)

(2)住家被害

確認中

3. 避難の状況

(1)避難状況(警察庁調べ:9月27日 16:00現在)

・15:15頃、頂上山荘約100人の登山客は下山開始との情報。

・御嶽神社の山小屋の46人について、下山中との情報。

・五の池小屋に退避していた登山客52人が下山中。

4. 政府の主な対応

(1)官邸の対応

- ・情報連絡室を設置(9月27日 13:23)
- ・官邸連絡室へ改組(9月27日 14:30)

(2)総理指示

- ・御嶽山の火山活動に関し、安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。(9月27日 14:30)

1. 早急に被災状況の把握を行うこと
2. 被災者の救助に総力を挙げるとともに、避難誘導等登山者や住民の安全の確保に万全を期すこと
3. 火山の観測を強化し、登山者及び住民に対する迅速的確な情報提供を行うこと

(3)関係省庁担当者会議の開催

- ・御嶽山噴火に係る関係省庁担当者会議を開催(9月27日 15:00)

(4)各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・情報対策室を設置(9月27日 12:36)

②警察庁の対応

- ・災害情報連絡室設置(9月27日 13:23)
- ・長野県警がヘリにより情報収集

③気象庁の対応

- ・火口周辺警報を発表。噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げ。(9月27日 12:36)